Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第24号
平成18年5月1日
（2006年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成18年
第1回
定例会

多摩湖自転車歩行者道
（向台町6丁目）

平成18年度当初予算を可決　一般会計、特別会計の総額は1,029億6,492万9,000円

第１回定例会では、一般会計のほか８特別会計の平成18年度当初予算を可決しました。

このうち一般会計予算では、乳幼児医療費助成の無料化の対象年齢を１歳拡大して４歳未満児までとするほか、ひばりヶ丘駅周辺まちづくり事業費、田無保育園、青嵐中学校の建てかえを行うための経費などが計上されています。

⇒詳しくは６面「予算の審査から」をご覧ください。

市議会議員定数条例を可決　次回の市議会議員選挙は定数３０で実施

地方自治法の一部改正に伴い「西東京市議会議員定数条例」が議員提出議案として提出され、賛成多数で可決しました。この結果、次回の選挙からの議員定数は、現行の36人から30人となります。

⇒詳しくは７面「委員会の審査から」をご覧ください。

●第1回定例会
会期…3月1日（水）～3月30日（木）30日間

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続審査	議案撤回
議案	45	37	0	7	1
補正予算	5	5	0	0	0
当初予算	10	9	0	0	1
条例	28	21	0	7	0
その他	2	2	0	0	0
議員提出議案	3	3	0	0	0
陳情	14	2	6	6	0

市議会のホームページをリニューアルしました



会議録、議員紹介、会議の日程、市議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。

◆市議会のホームページアドレス◆
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html

紙面の紹介（今号のもくじ）

○施政方針の概要、代表質問、用語の解説 ……2面
○代表質問、一般質問 ……3～5面
○予算の審査から（予算特別委員会の主な審査状況）、一般会計予算に対する討論 ……6面
○当初予算の概要、委員会の審査から（各委員会の主な審査状況）、写真募集 ……7面
○議案等の議決結果、決議・意見書、会議の開催状況、編集後記 ……8面

声の議会報をお届けしています。 お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎465-0823）へお問い合わせください。

施政方針の概要、代表質問・一般質問（1）

代表質問・一般質問の要旨

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派による代表質問と会派に属さない議員の一般質問を行いました。ここでは、最初に市長の施政方針の概要を掲載した上で、主な質問内容についてお知らせします。さらに詳細についてお知りになりたい方は、会議録をご覧ください。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※会議録（5月下旬発行予定）は、市内の図書館・公民館、両庁舎の情報公開コーナー、議会事務局に備えてありますのでご覧ください。また、ホームページでもご覧いただけます。

施政方針の概要

《はじめに》
市民が、愛情と誇りを持てるまちづくりを目指し、持てる知恵と力の全てを傾注する。また、車座集会の継続等により、市民とともに夢と希望が持てる市民参加のまちづくりを進め、政権公約の実現に向けた着実な取り組みの年とするため、市政運営に取り組む覚悟である。

《魅力あるまちづくりの推進》
・ひばりヶ丘駅南口や石川島播磨重工業工場移転跡地について、官民一体となって良好なまちづくりを推進する。
・ひばりヶ丘駅北口は、整備計画に基づく用地測量を実施する。
・保谷駅南口の再開発事業を推進する。
・はなバスの利便性向上を検討するため、フォローアップ調査を実施する。
・都市計画道路を計画的に整備する。

《子育て、健康長寿の推進》
・田無保育園建てかえ工事及び（仮称）田無第二学童クラブの整備に取り組む。
・公立保育園2園を基幹型として整備し、全子育て家庭の支援を推進する。
・乳幼児医療費助成制度の無料化対象範囲を、4歳未満児まで拡大する。
・住吉福祉会館の建てかえにより、（仮称）こどもの総合支援センター、老人福祉センター、女性センターを整備する。
・市内8カ所に地域包括支援センターを整備し、地域における相談支援体制の強化を図る。
・障害福祉計画を策定する。
・障害に応じた専門的事業展開を図るため、保谷障害者福祉センターを改修する。
・各種検診事業の無料化を継続し、前立腺がん検診等新たな検診事業を開始する。

《みどりの創造とリサイクルの推進》
・遺跡の保存と緑地の創出を基本として、下野谷遺跡公園の整備を開始する。
・東大農場の移転問題について、市民参加の懇談会により検討を行う。
・（仮称）リサイクルプラザは、財政的負担軽減を図りながら建設を行う。

《防災・防犯等と地域の底力》
・地域防災計画に基づき、緊急支援体制充実に努める。
・中学校区単位による地域防災訓練の実施を目指す。
・青色回転灯を装備した車による地域パトロールに加え、公用車3台により防犯体制の強化を図る。

《教育・スポーツ・芸術文化振興》
・学校巡回警備員を充実する。
・小中学校全校に防犯カメラを整備する。
・青嵐中学校の建てかえ工事を実施する。
・アスベスト除去工事を実施する。
・小学校パソコンの1人1台体制を完了させる。
・小学校通常学級に通学する障害児への介助員を新たに制度化する。
・5月完成の南町スポーツ・文化交流センターの特徴を生かし、地域の様々な活動を支援する。
・総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。
・（仮称）芸術文化振興条例について、市民参加による懇談会で検討を行う。

《産業・NPO等の振興》
・農作業を応援する援農ボランティアを養成する。
・地元産農産物のPRを推進する。
・まちづくりの核となる商業振興を図る。
・西東京市商工業振興基本条例を制定し、商工業発展と地域経済の活性化を図る。
・市民活動団体による企画提案事業を実施する。

《おわりに》
職員が使命感を持って仕事に取り組める環境づくりに努め、市民とともに、西東京市政の限りない発展に向け、誠心誠意全力で取り組みたい。市民のご理解とご協力をお願いする。

※施政方針の詳細は、3月15日号の市報及びホームページをご覧ください。

生活者ネットワーク　森下典子　保谷七緒美　渡辺嘉津子

市民を守る基本は平和　緑地確保条例でみどりを守れ

市民参加・NPO支援

質問 市民参加条例を検証し、新たな参加手法を行え。

答弁 参加者に年齢の偏りがあるので、より幅広い年齢層からの参加促進の仕組みを検討したい。

質問 地域からどう平和をつくっていくか。

答弁 憲法への理解を含め、平和への意識や関心が今以上に高まるよう、市民団体との協働企画イベント等平和推進事業を継続したい。

要望 意志ある市民がだれでも参加できる仕組みや、子育て中の市民も参加できる保育保障システムを。

質問 既存施設を活用し、NPOの活動拠点をつくれ。

答弁 市内NPO団体の声や他団体事例等を研究する。

ひばりヶ丘駅南口と石神井公園駅南口の再開発は市民合意で

質問 ①開発による人口増加が交通、学校、ごみ処理など行政のインフラに及ぼす影響をシミュレーションし、地域の成長を管理することが重要ではないか ②住民合意や説明責任はどう進めるか。

答弁 ①地区計画を定め、バランスのとれた町を誘導 ②地区計画の適用を前提に、都市計画決定に向け協議を進め、市民への情報提供も検討する。

東大農場分断の都計道3・4・9号線計画は慎重に

質問 東大農場を分断する都市計画道路を第三次事業化計画路線案に入れたことに市民から疑問が出ている。市は東大農場移転前に道路整備の要請をするな。

答弁 事業スケジュールは都から聞いていないので、具体的な情報があった時点で考えを決めたい。


下校風景（柳沢小学校）

学校安全条例の制定を

子どもや教師が安心して学校生活が送れるよう、学校安全職員の配置などを位置づけた条例が必要ではないか。

答弁 都や他自治体の動向を見ながら研究したい。

高齢者の日中独居把握を

質問 新年度に行われる高齢者施策調査の内容を示せ。

答弁 75歳以上全市民を対象に、家族構成や生活状況、緊急時の連絡先などを民生委員が聞き取り調査する。日中独居の有無も把握可能。

障がい者の就労支援

質問 今後3年間で養護学校卒業生は70～80人いる。地域に障がい者とともに働ける場や就労訓練の場を増やすことが大事だ。市役所を活用し、生活支援や就労訓練の場に向けて検討する庁内プロジェクトの設置を。

答弁 実態調査を行った上で可能か検討する。

新町・住吉都住跡地は緑に

質問 公園や緑地として保全整備するよう都市計画を定める考えはないか。

答弁 市民の要望に配慮し、都に対し緑の保全に協力するよう求めていく。

◇自治基本条例◇市民活動支援課の設置◇保谷駅南口公民館・図書館◇子どもの権利条例◇少人数学級◇女性センター相談事業◇緑化基金、緑地確保条例◇アスベスト対策◇介助員制度◇有機農業支援

用語の解説



○ワンストップサービス
利用者の利便性を考慮し、複数の用件を1カ所の窓口で受け付けられる窓口サービスのこと。

○財政調整基金
年度間の財源の不均衡をならすための積立金で、財源不足時の穴埋め、災害対策等に取り崩すことができる。

○認証保育所
東京都独自の基準により、東京都と区市町村が補助を行い運営されている認可外の保育施設。

○権利変換計画
従前の土地所有者等の権利が新しい建物等にどのように移行するのかなどを定めた計画。

○小規模多機能型居宅介護
「通い」を中心として、要介護者の心身状態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」のサービスを組み合わせて提供する。

○ティームティーチング
一人の先生が授業を行うのではなく、子どもたちの状況に応じて個別に対応する先生と主に授業を進める先生の2人で行う授業。

○DVシェルター
夫や恋人などの暴力から逃れるための一時避難所。

○シビルミニマム
市民が生活していくために最低限必要な社会保障、もしくはその基準。

代表質問・一般質問（2）

西東京市議会公明党
政権公約は今どこに?! 先行き不透明な市財政 市民負担の前に行財政改革を

小幡勝己　中田恵美子　岩越笙子　新井五郎　佐々木順一　鈴木宏一

市財政の見通しについて

質問「地域経営戦略プラン」で18年度は12億円の削減目標に対し約8億円しか達成できていない。次年度へ4億円の積み残しが明らかである。初年度から計画が崩れており今後の行革への取り組みが懸念される。行政改革の目標を達成する見通しは？

市長　徹底した歳出の削減や歳入の確保に努め、慎重かつ現実的な対応を図る必要があると考える。

耐震補助について

質問　地震に見舞われたとき、被害を最小に抑えるため、市としても耐震化診断費用や改修費に補助が必要である。多摩地区26市の中で8市が診断に補助を出しているが、当市でも実施すべきである。

市長　国や都の動向を見ながら検討したい。

市長の説明責任

質問「ちょこっと共済」の公費負担加入が急に廃止になった。議会、市民に対して説明がない。市長は市民への説明責任を果たすべきである。

市長　市民の皆様への周知、ご理解について、甚だ不十分であった。おわび申し上げる。

高齢者の雇用政策

質問　高齢者の雇用確保に全力で取り組むべきである。具体的対策を図れ！

市長　シルバー人材センターでも就業改革委員会を設け、セールスしている。

質問　介護保険法改正により、介護施策と高齢者施策との一体化を図れ。

市長　高齢者支援課を新設する。新たに地域支援係をつくり、地域包括支援センターなどの新しい業務に対応する。

防火対策について

質問　長崎県でグループホームの火災があった。老人施設やグループホームなどの防火対策を早急に図れ。

部長　各管理者に対し防火安全体制の強化を徹底する。

保育園の待機児について

質問　保育園待機児対策の具体的施策を推進せよ。

市長　保育園の建てかえによる定員拡大や認証保育所の活用で解消に努めたい。

東大農場について

質問　東大農場の移転問題について、市長は国や都、東大と直接交渉と言われるが、具体的にどのように行動したのか。

市長　国や都に対し緑と自然環境を踏まえた跡地利用への協力を要請していく。

はなバスについて

質問　はなバスの運行において利便性の向上に向け、ルート見直しを図れ。

市長　5路線の利用者数、定時性、財源も含めてフォローアップ調査を実施し、検討する。

乳幼児医療費の助成を

質問　乳幼児医療費助成の、所得制限を小学校未就学児まで撤廃し拡充を図れ！

市長　実現に向け財政的に可能な限り努力したい。

中学校給食について

質問　中学校完全給食の早期実施に向けて、具体的な取り組みを図り、実施スケジュールを明確にせよ！

教育長　中学校給食を望む声は大きい。学校給食運営審議会へ、ご審議をお願いしている。

西原教育施設について

質問　西原教育施設における合同避難訓練を実施せよ。

教育長　人命にかかわる極めて大切なことなので早期に実施したい。

都市農業について

質問　持続可能な都市農業を実現する本格的対策が必要である。市長の農業政策を問う。

市長　農地は4年前に比べ約8.9％減少している。緑の空間の創出に取り組む。

都市計画道路について

意見　ひばりヶ丘駅周辺の混雑を緩和するという大きな目的のある都市計画道路3・4・20号線が、東京都の第三次事業化計画路線から欠落している。これがなくて、逆に自然環境の保全が望まれる東大農場を貫通する3・4・9号線が計画されている。市長の政治姿勢から矛盾している。

日本共産党西東京市議団
国の地方財政削減のもと 福祉・教育・暮らしを守り 市民本位の市政へ前進せよ

安斉慎一郎　大川真理　保谷清子　倉根康雄　高梨功　葉原時美


車座集会（下保谷福祉会館）

憲法9条は戦後日本の原点

平和を守る決意を

市長　日本は戦後60年間、憲法を遵守し、平和国家としての役割を担ってきた。憲法への理解を深め、平和への意識を高めたい。

市民参加の基本

車座集会の継続・改善を

質問　車座集会での市民意見の生かし方と実施方法の改善を。

市長　要点記録をホームページで公開している。市の首脳部会議に報告、市民の提言は担当課で調査し市政運営に反映する。参加しやすい日時・場所、参加者の発言時間増を工夫したい。

質問　市報に意見の掲載を。

市長　検討する。

三位一体の改革の影響

3年間でマイナス67億円

質問　小泉政権による三位一体の改革で、市財政への影響は平成15年度からの3年間でマイナス67億円にもなる。見直しを求めよ。

市長　ますます厳しい状況にあり、地方の事業に見合った税源移譲を求めていく。

介護保険の負担軽減を

質問　介護保険料を低所得者に配慮した8段階にすることを高く評価する。保険料・利用料の市独自の負担軽減を求める。

市長　国に要望していく。

障害者の人権を踏みにじる「障害者自立支援法」

質問　障害者にとって、福祉サービスや医療は受益ではなく、憲法で定められた権利である。国の障害者福祉の財政負担を抑えるためとして、施設入所者に食費と住居費を負担させ、障害年金を収入とみなして利用料を取るなど、応益負担とすることは許されない。

国の低所得者対策は不十分で市独自の軽減策を。

市長　慎重に対応したい。

健康診査の無料制の継続を

意見　党市議団は基本健康診査の無料制継続に全力をあげた。医師会の協力と担当部課の努力で無料制の継続と前立腺がんへの拡充がされ、高く評価する。

乳幼児医療費無料の拡充を

質問　乳幼児医療費の無料制の所得制限なしを4歳未満児まで広げることを高く評価する。市長公約の小学校就学前までの拡充は。

市長　努力していく。

保育の質と安全の確保を

質問　保育園は公設公営が基本。民営化で安全の確保や保育の質の維持は可能か。

市長　保護者説明会や保育サービス検討委員会で検討して計画的に進めてきた。保育の質の維持向上に努める。保護者にご理解いただきながら進めている。



はなバスルートの改善を

質問　多摩六都科学館、昭和病院などへの乗り入れ、交通不便地域への運行を。

市長　利用者を対象に調査を行い、方向性を出す。

東大農場の緑の確保を

意見　東大農場の存続や緑の確保のため、全力をあげて国・都に協力を求めよ。

商工業振興基本条例

質問　市内商工業の経営環境と条例による改善の見通しを問う。

市長　市周辺にも大型スーパーができつつある。ルールを設け、大型業者に商工業発展の協力を求める。

30人学級の早期実現を

質問　30人程度の少人数学級の検討・実施を。

教育長　教員の増員は市の独自負担となる。教育長会を通じて都へ要望していく。

中学校給食の検討実施を

質問　中学校外注弁当についてのアンケートの結果は。

教育長　給食を望むというのが67％だった。

意見　子どもたちも望んでいる。前向きな検討を。

小学校普通教室に通う障害児への介助員配置

意見　実施を高く評価する。

児童・生徒の安全対策を問う

教育長　全通学路の安全点検の充実、登下校時の見守り体制の充実、巡回警備員の増員、安全マップの作成、教職員の研修、児童の大声トレーニングなどに取り組んでいる。

保谷駅南口再開発の権利者への説明は十分か

市長　説明会や個別協議など、公平公正に対応する。

平成18年5月1日　発行

代表質問・一般質問（3）

民主党西東京
市役所一丸となって行革とマニフェストを実現せよ！

桐山ひとみ　山崎英昭　二木孝之

問　市長就任1年を振り返り、市民との約束（マニフェスト）は着実に実行しているか。初年度の達成状況と18年度の達成見込みについて問う。

答弁　25％～30％弱は達成できた。18年度は、50％程度まで努力していく。

子育て、健康長寿の推進

問　医師会の協力による各種検診事業の無料化の継続、前立腺がん検診の新規導入、マンモグラフィの市内医療機関への受診者枠の拡大は評価する。残り3年間無料なのか。

答弁　委託単価の引き下げ等のご協力により、財政負担の軽減が可能となった。2年間は無料。

問　乳幼児医療費助成制度について、1年遅れで2歳拡大なのでは？今回なぜ1歳拡大になったのか。

答弁　17年度は非常に厳しい財政状況で実施を見送った。今回は、事務事業を見直す中で取り組むことができた。今後も努力する。

みどりの創造とリサイクルの推進

問　東大農場を分断する進出が計画されているが、都に対し市として必要な道路と計画道路が入ることによる東大農場のあり方とは。

意見　都へ優先道路にしてほしいと手を挙げた事実を踏まえ、計画道路と東大農場のあり方をしっかり検討するよう求める。


予防接種を受ける赤ちゃん（田無総合福祉センターで）

市民クラブ
財政状況を受けとめ、「地域経営戦略プラン」に取り組め

相馬和弘　猪野滋

問　坂口市長就任後1年が経過し、初めての通年予算の提案となる。この1年間の市政運営を振り返り、課題・問題点をどのように認識しているか。庁内の一体感のある体制づくり、組織の強化はできているか。

市長　幾つかの事業では歴史的経緯、議会での審議経過などの理解・認識が必ずしも十分ではなかった。

18年度はさらなる組織強化に向け、組織再編に取り組んでいきたい。

問　スクラップした政策は何か。そのことで幾らの財源が生まれたのか。

市長　スクラップ・アンド・ビルドの対応関係を個別事業ごとに示すのは困難。基金を計画以上に取り崩さざるを得なくなった。取り組みを積極的に進めていかなければならない。

問　当初計画での基金約28億円の取り崩しに加え、財源不足補てんのため、結果として約40億円超の取り崩しである。基金に対してどのような認識なのか。

市長　残高の回復に努める。

問　基金の変動は当たり前。財政調整基金・退職手当基金の推移が財政運営に大きくかかわる。基金に対する根本的な考え方を問う。

市長　ご指摘のとおり。目標に向けて、1年遅れでも2年遅れでも、1年遅れでも2年遅れでもやり遂げる。

問　地域経営戦略プランに取り組む市長の決意は。

市長　18年度一定の目標を達成したが、なお厳しい財政状況にあり、さらに財政健全化への努力を進める。

問　石川島播磨重工業の工場移転跡地に総合病院のナスにはならない。


石川島播磨重工業前（向台町4丁目）

自由民主党・市民派
どうする迷走する坂口市政!?
さらに悪化する財政状況
暗中模索の行財政改革!!

稲垣裕二　平井勝　酒井澄　浅野髙司　大塚光男

問　施政方針を作成するに当たり、市長は何を目指そうとされているのか？

市長　1＋1が3になるまちづくりを目指したい。

問　市長の考える市役所の方向性は。

市長　1市1庁舎、ワンストップサービスを目指す。

問　歳出予算が上回り、予算編成方針として定めていたものが、具体的に実を結んでいかない。こうした中で、18年度予算は何を指針に編成したのか？

市長　編成方針に基づき事業の圧縮等を行ったが、結果としてこのような内容にならざるを得なかった。

問　スクラップした政策は何か。そのことで幾らの財源が生まれたのか。

市長　スクラップ・アンド・ビルドの対応関係を個別事業ごとに示すのは困難。基金を計画以上に取り崩さざるを得なくなった。取り組みを積極的に進めていかなければならない。

問　当初計画での基金約28億円の取り崩しに加え、財源不足補てんのため、結果として約40億円超の取り崩しである。基金に対してどのような認識なのか。

市長　残高の回復に努める。

問　基金の変動は当たり前。財政調整基金・退職手当基金の推移が財政運営に大きくかかわる。基金に対する根本的な考え方を問う。

市長　ご指摘のとおり。目標に向けて、1年遅れでも2年遅れでもやり遂げる。

問　地域経営戦略プランに取り組む市長の決意は。

市長　18年度一定の目標を達成したが、なお厳しい財政状況にあり、さらに財政健全化への努力を進める。

問　石川島播磨重工業の工場移転跡地に総合病院の

部長　それほど大きなマイナスにはならない。

問　地域経営戦略プランに取り組む市長の決意は。

市長　18年度一定の目標を達成したが、なお厳しい財政状況にあり、さらに財政健全化への努力を進める。

問　石川島播磨重工業の工場移転跡地に総合病院の進出が計画されているが、地元医師会との調整は。

部長　東京都に対して医療法人沖縄徳洲会から開設の計画書が提出された。医師会及び関係機関と調整し、医師会への入会、小児救急医療体制の構築などを要望し、了解を得ている。

問　社会人講師「ようこそ先輩授業」について、学校では好評だが、今後どう発展させていくのか。

教育長　特色ある教育の推進のために地域協力者授業的に対応できる積み立てと利活用が求められる。

問　経常一般財源、経常経費充当一般財源、経常収支比率を示せ。

答弁　（答弁なし）

問　市長の目標は経常収支比率85％なのか、それとも削減累計額88億なのか。

市長　経常収支比率85％を目指している。

問　平成22年度当初の職員定数目標を17年度中に公表としているが、その数値は。

答弁　（答弁なし）地方分権に対する組織のあり方として、市長の具体的なビジョンは？

市長　組織目標の達成に向け主体性や自立性を発揮しやすい組織機構を目指す。住民ニーズへの迅速な対応、組織としてスピーディーな意思決定、また職員個々の責任と権限を明確にすることが必要である。

問　保谷駅南口市街地再開発事業について、市長はスケジュールありきで進められているのか？

市長　権利者の中には厳しい意見をお持ちの方がいることは承知している。権利者との協議を精力的に誠意を持って進め、権利者の生活再建の支援を行う。

問　各種検診の無料化継続はいいことだが、経緯は。

市長　医師会のご理解とご協力による。マニフェストの実施には、その前提となる財政見通しが必要。

意見　マニフェストの中で財政の健全化が大前提ということは、健全化が進まない限りマニフェストの項目は行わないと理解する。

問　マニフェストは見直さざるを得ないのでは？

市長　評価は市民にゆだねる。

問　地域懇談会において、しらじ窪跡地利用について都の売却方針後ストップはかけられると答えているが。

市長　慎重に見守りたい。市長交代後市でプランを立てると言っているが。

市長　市がコーディネートするのが重要課題だ。

問　保谷庁舎には市民が集会できる場所が1カ所もない。どう考えているか。

市長　市民サービス向上のための努力をしていきたい。こもれびホールのロビーや喫茶室は重宝されている。

意見　こもれびホールは有料である。理事者室はほとんど使っていない。使わせてもらいたい。


こもれびホール（中町1丁目）のロビー

自由民主党西東京市議団
第2次行財政改革で定数削減
職員の勤務評定の実施について
人口減少時代の対応は!!

保谷育彦　小林たつや　鈴木久幸　遠藤源太郎　海老沢進　中山寛子

問　行財政改革委員会での職員千人目標について。

答弁　職員適正化計画を策定し、22年度当初で13％減の1千71人を目標とする。

問　勤務評価を給料に反映する制度はできないか。

答弁　5部5課約60名でモデル試行を実施。19年度から本格的に実施する。

問　三位一体改革の影響と財源の確保への取り組みは。

答弁　市税収入は実質減少する一方、扶助費や公債費の経費が増加し、防犯や安全の確保、子育て支援も加わり、結果として基金を取り崩した。19年度以降徹底した行財政改革を行う。

問　子育て支援計画について具体的な方向性が示され、我々の提案した4歳未満児までの医療費の無料化拡大は評価するが、今後の展望は。

答弁　地域子育て支援センター機能をあわせ持つ基幹型保育園を整備し、私立保育園、認証保育所、児童館や幼稚園等と連携した子育て支援を積極的に展開。子ども家庭支援センターに相談員1名を増員し、子育てに不安を抱える母親支援やさまざまな子育て相談の充実を図る。

問　市長就任1年を経過し、政権公約と現実のギャップが多い。感想を伺う。

答弁　政権公約の達成度は20～30％と自己評価している。4年で90点をいただけるような市政が実現できればと考えている。

問　保谷駅南口の進捗状況と今後の展開について。

答弁　知事より権利変換計画の認可がなされ、新年度には建物の撤去等が進む予定。地域内権利者との協議を精力的、誠実に進めるとともに権利者の生活再建の支援等を円滑に進めたい。

問　新町都営住宅跡地の利用計画の進捗状況は。

答弁　埋設水道管を秋ごろ撤去した後に一括処分される模様。市民要望に配慮し、都に緑地保全を求めていく。

問　はなバスは運行開始から5年目、ルートの変更は。

答弁　議会や市民の意見等を整理し、利用者数、定時性、財源面を含め総合的な検証を図るため、フォローアップ調査を実施する予定。

問　18年度策定する道路整備計画で、防災機能の向上、安全な歩行者空間の整備と質の高い都市景観の実現とあるが、実現性を問う。

答弁　18年度予算に関係予算を計上している。

問　公共施設の有効活用について何を検討するのか。ひばりヶ丘駅南口に予定される公共施設の内容は。

答弁　公共施設の適正配置は中長期的に住民と協議しながら進めていく。ひばりヶ丘駅南口は駐輪場施設と出張所機能を導入したい。

問　谷戸せせらぎ公園の改修について。

答弁　開園して5年を経過し、補修が必要。可能なところから対応していく。

問　ドッグランの設置について。

答弁　都の了解が得られ、千駄山広場に試行的に整備するが、種々の問題が予想されるため近隣の理解を得ることが重要。設置後は、都立公園などのようにボランティア団体の組織で運営してほしいと考えている。

問　環境美化に向けポイ捨て禁止条例の制定を!!

答弁　ポイ捨ての原因となる歩きたばこは大変危険。吸わない人への配慮が必要。状況により禁止区域、禁止条例の制定も視野に入れる。

問　①49件ある市指定文化財の適正管理と市民への公開や展示について②郷土資料室の整備や下野谷遺跡の将来的な活用について。

答弁　①建築物については、一定の条件を付して修理等の経費の一部補助も必要と認識している。文化財ウイークで実施する事業等の中で市指定文化財の活用を図り、郷土の歴史に対する認識を高めたい。②下野谷遺跡は、18年度に史跡公園の整備が計画されており、活用を図りたい。

問　地域ブランドの創造と構想について。

答弁　19年度に農産物共同直売所の設置費補助を行う。


ドッグラン（都立小金井公園）

代表質問・一般質問（4）

市長の政治手法は疑問
政治責任をとるべきだ！

無所属　森輝雄

問　容器包装リサイクル法（容リ法）に従ったその他プラスチックの処理を18年度10月から実施すると議会に説明しながら、議会終了直後には違うことを行った。また6月議会では、市営駐車場についての条例改正案で、指定管理者を導入することができる、公募で決めると説明したにもかかわらず、可決して閉会した直後、特命契約で㈱アスタ西東京を指定すると決定した。何を考えているのか。


アスタ市営駐車場入口

市長　（対応する答弁なし）

問　議会への説明と相容れないことを議会終了直後に決めている。どう考えているのかと聞いている。

市長　容リ法の問題では最大限の説明をしてきた。決定ではなくプロセスだ。

問　容リ法しか答えていない。指定管理者の問題の方が重大だ。議会にうその説明をしたのか。公募という説明で議決した。議会軽視だ。明確に答弁せよ。

市長　結果として指摘のように決めると説明したにもかかわらず、可決して閉会した直後、特命契約で㈱アスタ西東京を指定すると決定した。何を考えているのか。

介護保険はどう変わるのか
今なぜ3・4・9号線事業化か

無所属　土井節子

介護保険制度

問　制度改正で、4つの生活圏域と8地域包括支援センターが設置されるが、その効果は。制度改正の市民への周知は。

答弁　高齢者が身近な地域で相談・支援が受けられる。周知はパンフレットの全戸配布、高齢者調査時の持参。

問　一定の待機者の解消になる。利用者負担は、特養が約9万円、グループホームが約17万円、有料老人ホームが約22万円だ。年金等で賄える負担額であるべきだ。

東大農場と3・4・9号線

問　東大農場の移転が公表され、豊かな自然と緑をどう残すかが大きな課題だ。農場を横切る3・4・9号線を三次化路線に入れるこ


東大農場（緑町1丁目）

とは、農場の移転や跡地の乱開発を誘導することになるのではないか。

答弁　3・4・9号線は渋滞解消のために必要な路線だが、微妙な時期なので、慎重に対応したい。

子どもたちに基礎学力を

問　「学校で読み書き、計算等の基礎学力をつけてほしい」という保護者の要望にどうこたえていくのか。

答弁　基礎学力の定着は学校教育の重要な役割だ。個別指導やグループ指導、ティームティーチング等を実施。学校評価の研究校を指定して、保護者の声を受け止めていきたい。

問　教育懇談会の開催を。

答弁　各委員の意見を聞いて、今後の課題としたい。

問　今後3年間でグループホームが54人分から144人分に、小規模多機能型居宅介護が新たに8施設200人分設置されるが、特養の待機解消になるのか。また、各施設の利用者負担額は。

答弁　一定の待機者の解消になる。利用者負担は、特養が約9万円、グループホームが約17万円、有料老人ホームが約22万円だ。年金等で賄える負担額であるべきだ。

意見　都へ優先道路にしてほしいと手を挙げた事実を踏まえ、計画道路と東大農場のあり方をしっかり検討するよう求める。

東伏見駅近くに児童図書館の設置を！

問　平置き396㎡の東伏見駅北口自転車駐車場の有効活用も含め、具体的な検討を行う考えはあるか。

答弁　駐輪場用地での図書館整備は困難であるとのこれまでの答弁経過があったと理解する。現状では東伏見駅周辺における施設整備計画は持っていない。児童図書館の整備は難しい。

意見　合併前には計画があった。各4駅には図書館がある。立地条件として全く場所がないわけではなく、平置きを半地下の2階建てにすればワンフロア程度使用できるのでは？児童図書館等の検討を強く求める。

職員による税オンラインシステムへの不正アクセスについて！

問　これまでたびたびセキュリティ対策への提案と警鐘を鳴らしてきた。個人情報に対する市民の関心と意識が高まる中、行政はより高い意識が求められる。今回の事件を市長はどう受けとめているか。

答弁　今回、データの流出や改ざん等の被害はないが、不正アクセス自体が法に抵触する行為。再発防止に努め、本市の情報セキュリティの確保に努める。

意見　今回の事件は情報の流出がなくてよかったという問題ではない！他人のパスワードでアクセスすること自体が違法行為だ。市がセキュリティポリシーを徹底していれば事件は起こらなかったはずだ。職員の意識を高め、徹底してセキュリティ対策を行え。

問　地域懇談会において、しらじ窪跡地利用について都の売却方針後ストップはかけられると答えているが。

市長　慎重に見守りたい。市長交代後市でプランを立てると言っているが。

市長　市がコーディネートするのが重要課題だ。

問　保谷庁舎には市民が集会できる場所が1カ所もない。どう考えているか。

市長　市民サービス向上のための努力をしていきたい。こもれびホールのロビーや喫茶室は重宝されている。

意見　こもれびホールは有料である。理事者室はほとんど使っていない。使わせてもらいたい。

問　地域懇談会において、しらじ窪跡地利用について都の売却方針後ストップはかけられると答えているが。

市長　慎重に見守りたい。市長交代後市でプランを立てると言っているが。

市長　市がコーディネートするのが重要課題だ。

問　保谷庁舎には市民が集会できる場所が1カ所もない。どう考えているか。

市長　市民サービス向上のための努力をしていきたい。こもれびホールのロビーや喫茶室は重宝されている。

意見　こもれびホールは有料である。理事者室はほとんど使っていない。使わせてもらいたい。

問　地域懇談会において、しらじ窪跡地利用について都の売却方針後ストップはかけられると答えているが。

市長　慎重に見守りたい。市長交代後市でプランを立てると言っているが。

市長　市がコーディネートするのが重要課題だ。

問　保谷庁舎には市民が集会できる場所が1カ所もない。どう考えているか。

市長　市民サービス向上のための努力をしていきたい。こもれびホールのロビーや喫茶室は重宝されている。

意見　こもれびホールは有料である。理事者室はほとんど使っていない。使わせてもらいたい。

予算の審査から、一般会計予算に対する討論

予算の審査から（予算特別委員会の主な審査状況）

今定例会では、平成17年度補正予算については3月8日・9日の両日、平成18年度当初予算については3月17日から29日までの間（7日間）、予算特別委員会を開催して審査を行いました。ここでは、その主な内容と平成18年度一般会計当初予算に対する各会派の討論内容についてお知らせします。

平成17年度補正予算

◆一般会計
【説明】歳入歳出予算の総額を4億5千155万5千円減額し、554億6千495万7千円とするもの。
【主な質疑事項】
・青嵐中建てかえ工事の大きな減額について
・不正アクセス防止の対応等について
【結果】賛成多数で可決
◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆受託水道事業特別会計
◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計
【結果】以上、賛成全員で可決

平成18年度当初予算

◆一般会計
【説明】歳入歳出予算の総額は578億2千万円。債務負担行為は住吉福祉会館建てかえなど30事業を予定。地方債は青嵐中学校校舎建てかえなど17事業、59億9千20万円の借入限度額を予定。一時借入金の最高額は60億円と定める。
【主な質疑項目】
・マニフェストに掲げる「予算編成過程での情報公開と市民参加」に関する18年度予算編成での手法について
・民間シェルターの運営助成金の補助基準について
・電子自治体の最適化計画による削減効果について
・国保会計への繰出金の基準及び保険料の引き上げについて
・地域経営戦略プランの受益者負担9項目、30億円に関する今後の事業費コスト低減と受益者負担の対象の関係について
・乳幼児医療費助成の19年度に向けた取り組みについて
・ITシステムの安全維持のための外部監査について
・中学校給食の諮問について
・障害者介助員事業の現況と6月実施に向けての準備について
・ドッグランの課題・問題点に関する近隣住民の理解と暫定使用に関する都との協議について
・人にやさしいまちづくり条例制定と紛争予防の効果、環境問題との連携について
【結果】賛成多数で可決
◆国民健康保険特別会計
【主な質疑項目】
・保険料収納率93％の計上と収納結果について
【結果】賛成全員で可決
◆下水道事業特別会計
【主な質疑項目】
・下水道維持管理台帳システム整備業務委託の効果と課題について
【結果】賛成多数で可決
◆受託水道事業特別会計
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆老人保健（医療）特別会計
【結果】以上、賛成全員で可決
◆介護保険特別会計
【主な質疑項目】
・地域包括センターを市内4つの地域に分割した地域ごとの利便性について
【結果】賛成全員で可決
◆保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計
【主な質疑項目】
【結果】賛成全員で可決
◆駐車場事業特別会計
【主な質疑項目】
・指定管理者公募に当たっての仕様書について
【結果】賛成全員で可決

一般会計予算に対する討論

反対

破綻に向かう旧来型予算に反対！
無所属　森　輝雄

事務事業見直しの姿勢やDV被害者を保護する民間シェルターへの助成や障害児の学校生活を保障する介助員の派遣ほか、人権に配慮した施策は評価する。
しかし、不祥事の原因究明や未然防止の努力が見えない。不正アクセスでは外部監査をしないなど、システム管理者として市民の信頼回復をなおざりにしている。事務執行体制や内部管理コストの見直し姿勢が見られない。財政健全化の観点、落札率の高さを改善する手だても見えない。ソフト事業を削って経常収支比率を下げようとしているだけだ。満足より納得してもらえる行政を目指せ。

賛成

福祉・教育切り捨て市民不在の坂口市長
西東京市議会公明党　新井五郎

市長は、徹底した行政体質の改善による内部努力で経費の削減を図り、その成果を市民に公開した上で受益者負担をお願いすべきである。国保料の改定については、戦略プランで18年度に保険料の限度額、19年度に保険料率の改定になっているのを同時に急激な市民負担増を提示してきた。公明党は、総括質疑を通じて均等割を2千円引き下げる提案を行い、さらに乳幼児医療費の所得制限を5歳児未満まで撤廃、中学校給食導入に向けた取り組みなど12項目の要求に一定の評価が見られたことから、これらを総合的に判断し、市民生活の影響も考慮して賛成する。

計画行政を前進させ、行革を進めよ
市民クラブ　猪野　滋

厳しい財政環境下、実施計画及びマニフェストの前進状況や行革の取り組みの予算化を評価する。2次行革では初年度目標の19億5千万円の効果を確認したが、3カ年で40億円もの影響があった三位一体の改革の19年度以降が見えない今、行革のスピードアップが必要。市長は、成果を得るためにどんな強みを生かして何をしなければならないかを肝に銘じ、行政執行に当たれ。

増える一方市民負担無責任な坂口市長!!
自由民主党・市民派　稲垣裕二

本予算は歳入歳出578億2千万円で、前年度比5.4％増となっている。厳しい財政状況の中、事務事業の総点検により「通所介護サービス事業に係る食費の利用者負担金1食400円から600円への引き上げ」「小中学校の卒業対策費の全廃」等多くの市民負担が明らかになった。また、「行革プラン」の目標経常収支比率90％に対し、当初予算で95.3％と目標数値を大幅に上回り、基金の追加取り崩しを行う等危機感を覚える。さらに、たび重なる事務手続の不手際は信頼を損ねるものである。しかし、我々自由民主党・市民派の要求項目に対し積極回答したことは評価する。

市民の視点に立ち行財政改革を進めよ！
民主党西東京　桐山ひとみ

総合計画の実効性確保、政権公約の実現、行革を進める予算として編成されたが目標には達していない。行政経費への影響を見きわめ、早急な行財政改革が求められる。厳しい財政の中で、DV被害者への民間シェルター助成・検診事業拡充と無料化継続、乳幼児医療費助成の年齢枠拡大、小中学校への防犯警備体制強化、小学校への障害児介助員配置等を評価する。
また、たび重なる不祥事や方針変更について市長の政治姿勢が問われている。
議会や市民へ情報公開と説明責任を果たし、市長が先頭に立ち市役所一丸となって市政運営に取り組め！

平成18年度予算の問題・課題と方向性
自由民主党西東京市議団　鈴木久幸

予算総額は578億2千万円、市債（市の借金）は約510億円。さらに基金残高は2年後には0になるとの予測。特別会計への繰出金も主要5事業で79億円余りとなる。
歳入は、市税の伸び悩み、三位一体の改革の影響などで厳しい状況である。今後を考えると危機感を抱かざるを得ない。抜本的な事業の見直しが必要と提言する。
個別の施策はおおむね是とし、中でもドッグランの設置と市指定文化財保存経費補助金は評価する。
今後は2庁舎体制の早期解決、田無駅南口広場やはなバスルート見直しのため、都市基盤の整備が必要だと申し上げて賛成討論とする。

子どもたちの生命と健康を守る予算
日本共産党西東京市議団　葉原時美

市民の声を大切にする車座集会の充実と継続。乳幼児医療費助成の所得制限なしを4歳未満に拡大。市民健康診査の無料制の継続と合わせ前立腺がん検診の開始と乳がん検診の充実。こどもの総合支援センター・住吉福祉会館等の建てかえ。小学校普通学級に通う障害児への介助員配置。学校巡回警備員の増員。地域パトロール公用車の増。小・中学校のアスベスト除去対策。青嵐中の校舎建てかえ工事など、市民要求に応えた予算である。なお、保谷駅南口再開発・ひばりヶ丘駅周辺まちづくりは住民合意と丁寧な説明を。東大農場分断の道路計画は再考を。

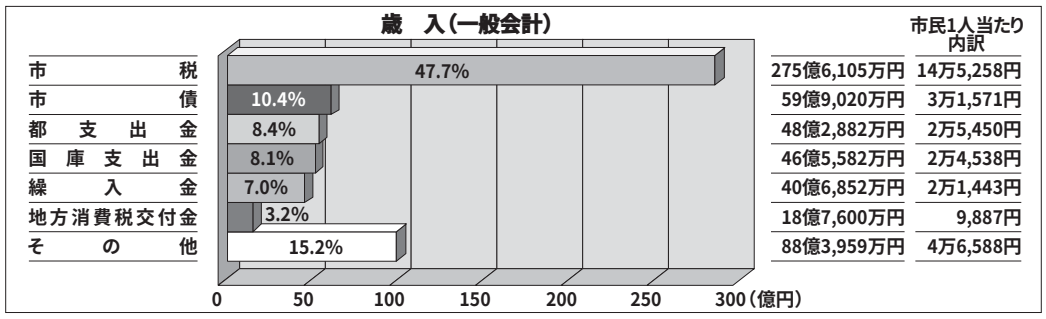
介助員制度の実現高く評価
生活者ネットワーク　保谷七緒美

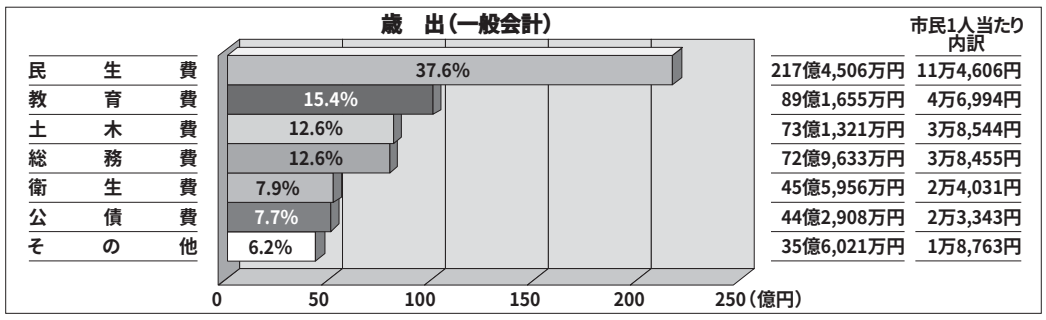
経常収支比率が95.3％と危険水域に入っていることは、厳粛に受けとめるべき。評価する点は、障がい児の介助員制度、DV被害者救済の民間シェルターへの補助、学校施設におけるアスベスト除去に最優先で取り組むこと、有機農業推進事業の拡充、交通計画の策定、ITの最適化計画の策定。一方、意見として、都市計画道路3・4・9号線については、東大農場の今後の姿が明らかになる前の段階では道路建設推進を表明しない、緑化基金を設置する、公共施設の統廃合では、スクラップ・アンド・ビルドをより厳密化すべきことを申し述べる。

介助員派遣・DVシェルター補助を評価
無所属　土井節子

国の三位一体の改革で歳入は25億円の影響を受けた。厳しい状況下の予算編成だ。坂口市長の政権公約である通常学級に通う障害児への介助員の派遣や、DV*シェルターへの補助は評価できるものだ。各種検診等の無料化の継続、乳幼児医療費の段階的無料化も政権公約の実現だ。小中学校のアスベスト対策の前倒し実施も評価する。リサイクルプラザ計画の見直しは不十分だが、合併特例債の適用条件ということでやむなしとする。3・4・9号線の早期事業化は見直せ。
今後、行革はシ*ビルミニマムの確保を図り、総合計画の投資的事業を見直せ。

当初予算の概要、委員会の審査から、写真募集





平成18年度　当初予算の概要

会計区分	平成18年度予算額	平成17年度比増減額	増減率
一般会計	578億2,000万円	29億8,300万円	5.4%
国民健康保険特別会計	154億8,847万円	8億8,496万円	6.1%
下水道事業特別会計	47億　620万円	1億1,447万円	2.5%
受託水道事業特別会計	11億2,627万円	△2億7,800万円	△19.8%
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億4,097万円	△846万円	△5.7%
老人保健（医療）特別会計	130億8,972万円	△4億2,274万円	△3.1%
駐車場事業特別会計	1億8,138万円	△1,763万円	△8.9%
介護保険特別会計	85億8,666万円	5億6,200万円	7.0%
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計	18億2,527万円	△11億6,663万円	△39.0%
合計	1,029億6,493万円	26億5,097万円	2.6%

＊各会計の表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しません。

委員会の審査から（委員会の主な審査状況）

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任・特別委員会等で審査を行います。ここでは、今定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

企画総務委員会

「職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例」
「職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例」
「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」
「外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】 地方自治法の改正に伴い、各条例中の「調整手当」を「地域手当」に改めるもの。都が給料と地域手当の配分変更について慎重に検討することとし、名称変更にとどめることから、都の給与制度に準拠している本市も同様に名称変更のみとした。

【主な質疑】

問 調整手当の本来の目的と趣旨は。

答 民間賃金や物価等が特に高い地域に在勤する職員等に支給される手当。

問 調整手当と地域手当の違いは。

答 地域手当は、民間賃金の地域格差が適切に反映されるような地域給を導入する視点から、調整手当にかえて支給するもの。

【結果】 いずれも賛成全員で可決

文教委員会

「菅平少年自然の家条例の一部を改正する条例」

【説明】 菅平少年自然の家のある長野県小県郡真田町の合併に伴い、所在地の住所表示を「長野県上田市菅平高原1223番地4516」に変更するもの。

【主な質疑】

問 管理する行政区が変わるが、何か変更点はあるか。

答 特にない。

【結果】 賛成全員で可決

厚生委員会

「乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】 乳幼児医療費助成制度の所得制限を適用しない対象年齢を1歳拡大し、4歳に達する日の属する月の末日までとするもの。



【主な質疑】

問 今回一気に就学前まで拡大することは検討しなかったのか。

答 毎年度1歳ずつ拡大する努力目標だったが、財政が厳しく17年度は実施できなかった。やっと1歳拡大の提案までこぎつけ、毎年度できる限り拡大していきたい。重みのある課題だと認識している。

問 財源は生み出せたのか。

答 全事務事業の見直しを行い、スクラップ・アンド・ビルドで何とか財源を確保した。

【結果】 賛成全員で可決

建設環境委員会

「商工業振興基本条例」

【説明】 市内商工業の発展、地域経済の活性化等を促進し、市民生活の向上と活力ある地域社会の実現を図ることを目的として新たに条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 この条例で何が変わるのか。

答 例えば、事業者の役割として商店会への加入や協力が規定されることにより、商店会への加入促進のよりどころとなり、現状の改善が見込まれる。

問 チェーン店など、これまで加入されなかった店舗等への対応は。

答 商工会が、各商店会の会員になっていない方や空き店舗の状況を把握し、各商店会が作成する事業計画の資料づくりの指導に当たり、商店会と一体となって加入促進活動に取り組むことを考えている。市としても、条例に基づく周知文書を作成するなど、先進団体の取り組みを参考にしていきたい。

【結果】 賛成全員で可決

議会運営委員会

「市議会議員の定数削減を求める陳情」

【条例の説明】 地方分権一括法による地方自治法の改正により、平成15年1月から「市町村議会議員の定数は条例で定める」と規定されたため、現行の「定数減少条例」（定数30人）を「定数条例」として改めて定める必要があるもの。

【陳情の趣旨】 次回選挙から議員定数を26人以下とすることを強く要望し、再度陳情する。

【主な質疑】

問 定数を30として提案した根拠は。

答 昨年12月定例会で定数を28とする議員提出議案を否決した。定数については各会派でそれぞれの考え方には幅がある。法定上限数いっぱいにすべきだという考えもあれば、合併後の経過として30という考え方、また、定数以外に報酬を絡めて考えるべきとする考え方もある。今回は、あくまでも次回の選挙前に定数条例を定めなければいけないという一致点で提案した。

【結果】
〔条例〕 賛成多数で可決
〔陳情〕 賛成少数で不採択

市議会だより掲載写真募集！

募集要項

○**規　格**　未発表・未公開のオリジナル作品。原則としてカラー写真。プリントしたものの場合はL版以上のもの。デジタルカメラで撮影したものの場合はデータを収録したもの
○**内　容**　テーマ、ジャンル等特に問いません。
ただし、人物が明らかに特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。
○**応募要領**　撮影者の住所、氏名（掲載に際して匿名を希望する場合はペンネームを併記）、電話番号、撮影場所・年月日、作品名及びその説明、市外在住の方は西東京市との関わりを別紙に添え、折れ曲がらないように下記にお送りください。
○**締　切**　・第25号分…平成18年6月末日　・第26号分…平成18年9月末日
○**審　査**　議会報編集委員会で審査します。
○**発　表**　採用された作品は、市議会だより1面にカラーで掲載します。編集上トリミングを行う場合もありますので、ご承知おきください。
なお、それ以外の作品についても順次掲載させていただく場合があります。
○**送付・問い合わせ先**　〒188-8666　西東京市南町5-6-13　議会事務局庶務調査係
☎042-464-1311　内線1711・1715



西東京市 議会だより

議決結果（議案・陳情）、決議・意見書、会議の開催状況

第1回定例会 議案の議決結果一覧　○賛成　×反対

件名＼会派（　）は所属議員数		西東京市議会公明党（6）	日本共産党西東京市議団（6）	自由民主党西東京市議団（6）	自由民主党・市民派（5）	民主党西東京（3）	生活者ネットワーク（3）	市民クラブ（2）	無所属・無所属クラブ（1）	無所属・無所属市民の会（1）	結果
補正予算	・一般会計予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
補正予算(17年度)	・国民健康保険特別会計予算（第２号） ・下水道事業特別会計予算（第３号） ・受託水道事業特別会計予算（第１号） ・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
当初予算（18年度）	・一般会計予算 ・下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
当初予算（18年度）	・国民健康保険特別会計予算 ・受託水道事業特別会計予算 ・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算 ・老人保健(医療)特別会計予算 ・介護保険特別会計予算 ・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算 ・駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定	・商工業振興基本条例 ・障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例 ・市長等の給料月額の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	・職員の懲戒の手続及び効果に関する条例 ・職員の公益法人等への派遣等に関する条例 ・非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例 ・一般職の職員の給与に関する条例 ・外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例 ・国民健康保険条例 ・環境基本条例 ・廃棄物の処理及び再利用に関する条例 ・介護給付費準備基金条例 ・高齢者センターきらら条例 ・乳幼児の医療費の助成に関する条例 ・市立児童館条例 ・菅平少年自然の家条例 ・介護保険条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例廃止	・財団法人西東京市文化・スポーツ振興財団に対する助成等に関する条例 ・不況対策基金条例 ・老齢福祉年金加算交付金支給条例 ・田無市老人住宅資金貸付条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・アスタ市営駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	・西東京市議会議員定数条例	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議	○	×	○	○	○	×	○	×	×	可決
議員提出議案	・児童扶養手当の減額率の緩和を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

継続審査
- 市長等の退職手当の特例に関する条例
- 教育委員会教育長の退職手当の特例に関する条例
- 田無駅北口地区再開発事業に伴う建物取得等資金の融資あっせん条例を廃止する条例
- 国民保護協議会条例
- 国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例
- 市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- 教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○介護保険改正に関する陳情（厚生）
○児童扶養手当の減額率の緩和に関する陳情（厚生）

不採択となったもの

○保谷駅南口再開発の見直しまたは中止を求める陳情（駅周辺特別）
○「医療制度構造改革」による高齢者への負担増等に反対する意見書の採択を求める陳情（厚生）
○居住費・食費に対する西東京市独自の軽減対策を求める陳情（厚生）
○西東京市議会議員の定数削減を求める陳情（議会運営）
○患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める陳情（厚生）
○国民健康保険料の均等割の値上げに反対する陳情（厚生）

継続審査となったもの

○西東京市学齢期の障害児支援についての陳情（厚生）
○容器包装リサイクル法に基づいた「ごみ減量」システムの整備に関する陳情（建設環境）
○「西東京いこいの森公園」の騒音対策要請についての陳情（建設環境）
○西東京いこいの森公園の水遊びの遊具(噴水)の使用禁止についての陳情（建設環境）
○「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情（企画総務）
○今までどおり「田無障害者福祉センター」を利用することについての陳情（厚生）

今定例会で可決した決議・意見書

○第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議

○児童扶養手当の減額率の緩和を求める意見書

【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣

お知らせ

東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合は、4月1日付で「東京たま広域資源循環組合」と名称が変わりました。

会派名の変更

「自由民主党」は2月23日付で「自由民主党・市民派」となりました。



編集後記

風が柔らかで、新緑まぶしい季節。

冬の間じっとしたためていたエネルギーがパッとはじけ、周辺に樹木の活力元フィトンチッドを放出しているようです。

学校の前を通ると、新1年生を迎えた子どもたちの笑い声やかけ声などの元気な様子が心強く、何だかホッとします。

さて3月の定例会は、市民の皆様の生活と関係深い予算審査などで議論が長引き、会期が一日延長となりました。編集委員会では、議会の様子が少しでも身近に感じていただけるよう努力いたしましたが、いかがでしょうか。

皆様のご意見で、より読みやすい議会報に育てていただければ幸いです。

（K）

会議の開催状況（平成18年1月～3月）

1月
10日 建設環境委員会
17日 議会運営委員会
18日 議会報編集委員会
30日 全員協議会

2月
6日 建設環境委員会
21日 建設環境委員会
24日 議会運営委員会

3月
1日 **第1回定例会**・本会議（施政方針、議案等上程～付託）予算特別委員会、議会報編集委員会
2日 本会議（代表質問）
3日 本会議（代表質問）
6日 本会議（代表質問）
7日 本会議（代表質問、一般質問）
8日 予算特別委員会
9日 予算特別委員会
10日 本会議（委員会審査報告、議案・陳情上程～付託）議会運営委員会、建設環境委員会
13日 企画総務委員会、厚生委員会
14日 文教委員会、建設環境委員会
15日 議会運営委員会
16日 駅周辺再開発等特別委員会
17日 予算特別委員会
20日 予算特別委員会
22日 本会議（議案撤回、議案上程～付託）議会運営委員会、予算特別委員会
23日 予算特別委員会
24日 議会運営委員会、予算特別委員会
27日 予算特別委員会
28日 建設環境委員会
29日 本会議（議案訂正、会期延長）議会運営委員会、厚生委員会、建設環境委員会、予算特別委員会
30日 本会議（委員会審査報告、市長・議員提出議案等上程～議決）議会運営委員会

古紙配合率100%再生紙を使用

お問い合わせ
議会事務局庶務調査係　℡464-1311内線1711・1715

市議会ホームページ
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html